

R.I 第2620地区静岡第2グループ

沼津ロータリークラブ

WEEKLY BULLETIN



世界に希望を生み出そう

2023~2024年度RIテーマ

R.I.会長

ゴードン R. マッキナリー

RI第2620地区ガバナー

中村 皇積

2023~2024

NO.20

事務所 沼津市八幡町15
〒410-0881 ピレッジ35 303号
☎(055) 963-0515 ☎963-5202
例会場 沼津市上土町100番地1
〒410-0802 沼津リバーサイドホテル
☎(055) 952-2411 ☎952-2455
例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30
会長 大村 愛美
幹事 渡邊 真司
会報委員長 渡邊 真秀

再生紙を使用しております。

第3426回例会

2024.1.19

会長挨拶

会長 大村 愛美

本日は沼津市長頼重秀一様をお迎えして恒例の新春卓話をさせていただきました。公務ご多忙の折、当クラブのために卓話をいただき感謝しております。

コロナ禍でしばらく自粛していた賀詞交歓会や新年会などが今年はコロナ前のように開催されているようですが、私が出席した会合で嬉しいお話をきましたのでご披露したいと思います。一つは大谷翔平選手が全国の小学校に寄贈したグローブが沼津市にも届いたという話。「野球しようぜ!」の言葉と共に2023年12月から順次全国の小学校にグローブが届き、子供たちのワクワクする表情を何度かTVで観てきましたが、ついに沼津市にも届いたそうで、学校関係者や小学生でなくとも嬉しい気持ちになる方が多いと思います。左利きの子にも配慮して寄贈するグローブは3個という心配りも素晴らしいと評価されていますが、大谷選手はその存在が見ている人を笑顔にさせる稀有な愛されキャラだと思います。新天地ドジャースでの活躍を期待とともに今年も彼を応援をしていきたいと思っています。

もう一つは沼津JCの賀詞交歓会でお聞きした話です。沼津JCは1月1日の能登半島地震発生後、すぐに石川県のJCメンバーと連絡を取り合い、1月4日には石川県に簡易トイレ、水、土嚢、ブルーシートなど、被災された方が本当に必要としている支援物資を届けたそうです。沼津JCは今年創立70周年を迎えるそうですが、現メンバー数は23名。その少ない人数がお正月を返上してホームセンターなどで支援物資を購入し届けたということで若い世代の行動力や結束力に感服しました。

同時に私たちRCは何ができるかを改めて考えさせられる機会にもなりました。

ゲスト 頼重 秀一様（沼津市長）
木畠 芳紀様（沼津市秘書室）

他RC出席 吉野君（1.14 RLI）

出席報告

欠席者（6名）
木村君、楠木君、村上君、大熊君、
海野君、渡邊洋君

会員総数	41名
出席計算に用いた会員数	41名
出席計算に用いた出席数	35名
出席率	85.37%
前々回の修正出席率	83.33%

プログラム

1月26日（金）

会員アンケート調査

クラブ研修リーダー 吉野 聖一君

会員誕生日 楠木 公一君、奥村 茂春君

2月2日（金）

会員卓話

渡邊 洋二郎君
山本 洋祐君

新春沼津市長卓話

「市制100周年を振り返って」

沼津市長 賴重秀様

新年あけましておめでとうございます。

令和6年の年頭に当たり、謹んで新春の御慶びを申し上げます。

昨年は、本市が市制100周年を迎えた記念すべき年でありました。

この大きな節目にあたり、沼津ロータリークラブの皆様には、都市装飾バナーフラッグの掲出をはじめ、多大なる御協力を賜り誠にありがとうございました。

皆様の御協力により、市では7月1日の「記念式典」をはじめ、沼津ならではのコンテンツを集結した「記念イベント」や「沼津夏まつり市民パレード」、「Sea級グルメ全国大会in沼津」、「ぬまづ未来博2023」、「沼津農林水産まつり」など、様々な記念事業を開催し、沼津を愛する多くの皆様と共に、市制100周年の沼津市を大いに盛り上げることができました。



さて、本市のまちづくりにつきましては、昨年3月に、「香陵アリーナ」がオープンし、多くの皆様に御利用いただいているほか、バスケットボールやバレーボールのプロスポーツの試合や全日本フェンシング選手権大会を地方都市で初めて開催するなど、スポーツを活かしたまちづくりが着実に進んでおります。

また、沼津駅周辺総合整備事業の核となる鉄道高架

市制100周年記念事業を推進するための基本的な考え方

先人達への感謝と敬意
沼津市が、交通の要衝、産業の拠点、学術都市等として栄える現在があることが、多くの先人達に支えられてきたことを理解し、改めて「感謝」と「敬意」をはらう機会を創出します。

誇りと愛着
沼津市の魅力を広く発信し、本市に関する全ての方々が、本市に対する誇りと愛着を抱いていただくことを目指します。

市民との協働
市民一人ひとりが、未来に向むけてまちづくりの担い手が自分自身であることを自覚し、市民と行政の協働により、よりよい沼津を育む意識を醸成します。

次の100年への新たな一歩
沼津市3月31日で、新たな歴史が創り出され、新たな未来を描き、誰もが未来の沼津に夢や「希望」を抱くことができる機会を創出します。

事業において、鉄道施設の本体工事の第一弾となる新貨物ターミナル工事が着手されるなど、本市のまちづくりは、より一層加速しております。

この流れをさらに推進させるべく、沼津駅周辺総合整備事業を着実に進展させていくとともに、まちなかの公共空間を活用したヒトを中心のまちづくりなどの取組により、まちの骨格を形成する様々な都市基盤の整備を行ってまいります。

また、市民目線の「スマート市役所」の実現に向けた取組や、まちの回遊性向上に向けた観光DXの推進など、「X-Tech NUMAZU」の取組を力強く推進し、沼津に暮らす人々のQOL(Quality of Life)の向上を図ってまいります。

市制100周年の取組により高まった本市への誇りと愛着をこれからも持ち続け、沼津市を愛してくださる方々と協力しながら、魅力的なまちづくりを一層進めてまいります。

次の100年への新たな一歩を力強く踏み出していく沼津市にどうぞ御期待ください。

結びに、市民の皆様の御健勝、御多幸並びに貴会の益々の発展を心よりお祈り申し上げ、年頭の御挨拶とさせていただきます。



幹事報告

- 1/26例会終了後、第8回定例理事会
2. 1/18(木) 沼津青年会議所新年賀詞交歓会
⇒大村会長・渡邊幹事 2名出席
3. 令和6年能登半島地震に対する義援金のお願い
⇒引き続き、ドネーションBOX巡回
4. 富士RCからお知らせ
⇒富士RC創立60周年記念公開シンポジウムのご案内
5. 地区より訃報
⇒当地区バストガバナー青島 廣幸様(静岡RC会員・1996-97年度ガバナー)が11月19日にご逝去されました(満95歳)

スマイル・ボックス

大村会長…本日は例会プログラムが入れ替わりました。空腹のままお待たせしてすみません。

積君…米寿?88歳?…わっ、俺のことだー!

大友君…誕生日のお祝いありがとうございます。未だ59歳です。

渡邊真君…お腹すいた~。これを読むころには満たされているかな~

横溝君…お誕生日プレゼントをありがとうございました。沼津5年目を目指しています。